



春闘

第2回交渉&トヨタ回答!

2018 満額獲得するぞ! ⑥

第2回交渉速報 3月13日

組合側主張要旨

過去最高の決算と社員の努力に報いるべき

第3四半期決算は増収増益の過去最高! 労働密度は高まっている。会社の言う「生産性向上」は単なる人件費の抑制ではないこと等を確認。

ベア一律回答を求める

ベアで職責等によって差をつけると、仮に昇給が一年違うことでの賃金の差が一生埋まらない。公平性・納得性あるベアと言えない。「異常時には職責を越えて」と矛盾する。物価上昇に職責は関係なく、時間軸は同じである。

社員の中長期的な生計費も勘案すべき

年金問題、医療費増、進学率の上昇、社宅利用者は住環境制度変更されるなど生計費は増えている!

トヨタ2018春闘回答

日本を代表する企業「トヨタ」が3月13日、いち早く春闘回答を示しました! 正社員に加え、パート従業員や60歳以上の再雇用者などを含む労働組合員に、平均で月額1万1700円の賃上げ! 賃上げ率は3.3%。正式回答は集中回答日の14日。年間一時金(ボーナス)は組合要求を満額回答! 昨年を上回る0.3ヶ月上回る! JR東日本の常套句「突出感を出したくない」は通用しない! 世間相場を理由に低額回答は許されない状況となりました。仮に基本給平均30万円(主任)で3%の賃上げなら定期昇給+ベア3000円~4000円くらいは上げないと相場に合いません! 東日本ユニオン要求であるベア一律6000円も支払える経営体力は十分! 最後まで本部交渉団を支え満額回答を勝ち取りましょう!

いっか声を出し、要求満額を実現しましょう!

